

令和2年 智頭町成人式



新成人代表
ふうき 山根 富貴さん

本日は、私たちの人生の新たな門出に対し、このような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。このようないきいきとした健康で迎えられることができ、大変嬉しく思います。

また、多くのお祝いの言葉をいただきました。ご来賓の方々をはじめ出席いただきました皆様は、新成人を代表して心より感謝申し上げます。現在、私たちは進学し勉学に励んでいる者、就職して働いている者と歩んでいる道はさまざまですが、今のうちに生活できているのも、たくさんの愛情を注いで育ててくれた家族、先生方のご尽力や、温かく見守ってくれた地域の皆様の支えがあつてこそだと思っております。感謝してもしきれぬものではありませんが、今後は自分たちも社会を構成する一人、だといふ自覚を忘れずに、自分自身にできることを考え、精一杯取り組んでいくことで、少しでも恩返しになればと考えています。

これからも一人ひとりが自分らしくたくましい姿に成長できるように努力していくことを誓い、代表のあいさつとさせていただきます。

本日は、私たちのために、このような盛大な式典を催していただき、誠にありがとうございます。早いもので、私たちがこの世に生まれてから二十一年の月日が経ちました。そして、この成人を機に、私たちに對する社会の見方は「子ども」から「大人」へと変わり、私たちは一人一人として自覚と責任を持たなければなりません。しかし、成人式を迎えた今も私たちは発展途上であり、未熟な存在です。だからこそ私たちが大切にしなければならぬのは、常に自身の成長を求め、学び続ける姿勢を持つことだと思います。

一人一人は、自分の時間をどうするか自分で決めないといけない。光を見るために目があり、音を聞くために耳があるように、時間を感じるために心がある。これは、ミヒヤエル・リンデンの著書『十七七』の作中の言葉です。

私たちが人間に与えられた時間は有限であり、その使い方、感じ方を決めるのは私たち自身の心です。何も学業だけが学びなのではなく、自分の心を育てること、社会に還元していくこと、私たちの責務なのではないでしょうか。

最後にになりましたが、今日この日を迎えられるのは、両親や家族、先生方、地域の皆様をはじめ、これまで出会った多くの方々への支えのおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。以上簡単ではございますが、ご隣席賜りました皆様のご健勝とご多幸をお祈りし、新成人代表の挨拶と代えさせていただきます。



新成人代表
あゆみ 石谷 歩実さん

ハタチの決意

